

令和2年度 第1回 FD 研修会を開催しました。

FD 推進部会主催による令和2年度第1回 FD 研修会を令和2年10月27日（火）に開催しました。内容は、『数理・データサイエンス教育の必要性、社会での活用方法』をテーマに、九州大学基幹教育院の木實教授による講演でした。今回、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、九州大学、九品寺キャンパス、武蔵ヶ丘キャンパスの3会場で zoom による遠隔配信にて行い、本学の研修会としては初の試みでした。講演の Live 配信は録画をし、当日参加できなかった教員は、各々録画を観て木實教授の講演を聞くことができました。

研修後のアンケートでは、「データサイエンスや AI が文系、理系を問わず教育全般に関わる必要事項なのだと思った。その基礎として算数や数学がきちんと習得される必要性を感じた」「Society5.0 では多くが自動化を指向し、提案・判断といった人間的思考の領域を AI に依存することが何を意味するのか十分考えていく必要があると受け取った」「日ごろ扱っているデータ収集・分析・整理・活用といったことについての学びがあり大変興味深かった」「予習・課題・レポート・復習の過程は重要であるが、特に予習をさせるデータを上手に創り出せば、予習をしてくる学生が増加することを学んだ」「現代の社会情勢や情報化の進展などの状況に対応して、データサイエンス教育の必要性が高まっており、九州大学など先行している事例があることについて理解できた。本学でどのような内容について、どのように導入を図るのか、時間をかけた検討が必要だと考える。実践に向けた課題が多々あるように思う」「社会におけるデータサイエンスの応用では、マーケティング・医療・スマートシティ・情報推薦システム・教育等への応用について説明があったが、特に教育への応用については興味深いものがあり、もう少し詳細に話を伺いたいと感じた」「コロナ禍の授業展開において、オンライン授業の難しさの中にも対面ではできなかった個々の学生の能力のデータが回収でき、データサイエンスの可能性を実感した」など多くの感想が寄せられました。

zoom による研修会の様子



九品寺キャンパス



武蔵ヶ丘キャンパス